

にこにこ通信 9月号

『中学生交流』

6月11日と25日のわくわく広場と20日ののびのび0歳広場に、太宰府中学校の3年生が1クラスずつ交流に来ました。技術・家庭科（家庭分野）の「家族・家庭と子どもの成長」という授業の一貫として、毎年子育て支援センターへ交流に来ています。

1クラス37～38名と多人数なので、サロンの部屋が中学生と親子でいっぱいになりました。広場の対象年齢は、「わくわく広場が2歳以上の子どもと保護者」「のびのび0歳広場が0歳の子どもと保護者」と参加する子どもの年齢が違うのですが、どの年齢の子どもたちでも、中学生から見ると小さくて「かわいい！」のひと言だったようです。

参加している親子と一緒に体操をしたり、歌をうたったり、子どもと向かい合い音楽に合わせてふれあいあそびをしました。0歳の広場の時はおかあさんから赤ちゃんを抱っこさせてもらい、おそろおそろ抱っこしたり、上手に抱っこしておかあさんからほめられたり、保護者に質問をしたりといろいろな中学生の姿を見ることができました。初めて赤ちゃんや小さい子どもと接する中学生がほとんどだったようで、女子も男子もとても嬉しそうでした。

保護者も大きな中学生を見て、我が子もこんなに大きくなるのだろうなとほほえましく、笑顔で参加していました。

また、6月26日と27日の2日間は、同じ太宰府中学校の2年生が3名、職場体験にきました。

職場体験は昨年から受け入れていますが、希望して体験に来たからか積極的に子どもたちと遊んでいました。

将来生徒たちが大人になった時に、この交流や職場体験のことを思い出して、何かの役に立てばいいなと思います。

元気づくり課子育て支援センター

☎（919）6001